

# 会報【第59号】

NPO法人  
コミュニティ時津  
COMMUNITY TOGITU

平成31年1月発行

## 活動報告(平成30年10月～12月)

### 内 容

- ✚ 新年のごあいさつ
- ✚ 時津港のごみ拾い  
～参加者 約70人、燃やせるごみ360kgを収集～
- ✚ 海外支援(カンボジア)～12月15日から12月21日まで支援訪問～  
～活動を通しての感想と反省～
- ✚ 「やさしいパソコン教室」  
～最後の「やさしいパソコン教室」は、10月5日スタートし11月27日に終了～
- ✚ 協働事業 土曜学習教室(とぎつサタデールーム)  
～社会教育九州ブロック大会で実践事例発表 その他2件の発表依頼～
  - ・第6回 ～スポーツの秋にちなみ「長崎発祥のスポーツ」を学ぶ～
  - ・第7回 ～「日本と外国の文化」の違いを学ぶ～
  - ・第8回 ～「英語で歌うクリスマスソング」と「クリスマスリース作り」～
- ✚ 当面の予定
  - ◎シニア パソコン教室事業「アミーゴ サロン」後半がスタート
  - ◎時津港沿岸(ウォーターフロント公園周辺)のごみ拾い 3月16日(土)実施予定
- ✚ ホームページ掲載記事
  - ◎ ホームページ 26件 ブログ 15件(10月～12月)

## ★新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

昨年のお世相を表す漢字は、日本漢字能力検定協会の一般公募で、19万3214票中2万858票を獲得した「災」に決定しました。日本各地で発生した強大な地震やこれまでに経験したことがない豪雨、台風、猛暑など、自然「災」害の脅威を痛感した一年でした。そのほか、仮想通貨流出、スポーツ界でのパワハラ問題、財務省決算文書改ざん、大学不正入試問題などの事件が発覚し、これらの出来事を人「災」と捉えた年でした。今年一年が皆さまにとりまして「災」のない年になるよう心からお祈りしています。



さて、NPO 法人コミュニティ時津は、法人化してから 15 年が経ち、地に足のついた活動ができるようになりました。本年も五つの事業（ホームページで地域情報の発信、パソコン教室の開催、環境保全・美化と地球温暖化防止活動、カンボジアの孤児院などへの物資・自立支援、安全な食の生産と食育）に取り組んでまいります。

2025 年問題を視野に開催しているシニアパソコン教室「アミーゴサロン」（時津町社会福祉協議会と共催）は、和やかな雰囲気の中で、教えたり教えられたりして、楽しみながらパソコンのスキルを習得し、健康な生活を送ることを目的にしています。

環境保全・美化活動は、広く皆さんに呼び掛けて「時津港（ウォーターフロント公園）沿岸のごみ拾い」を年 2 回実施します。同時に環境と密接な関係にある地球温暖化防止の啓発活動を行います。

カンボジアの孤児院などへの物資・自立支援は、これまでに現地訪問して得た情報や直に見てきたことを参考に、より効果のある支援のやり方を考えて実践します。

協働事業「とぎつサタデールーム」は、平成 29 年度「地域学校協働活動」推進にかかわる文部科学大臣表彰を受けてから、平成 30 年度は 3 件の実践事例発表依頼がありました。これを励みに、子どもの居場所として人づくり・地域づくりの活動を続けます。

本年の 5 月 1 日には元号が変わります。当法人も心機一転、さらに活動を活性化していきたいと思っています。昨年と変わらぬご支援、ご協力を切にお願いして、新年のごあいさつとさせていただきます。

（理事長 田窪 幸男）

## 活動の詳細

### ★ 「時津港のごみ拾い」

～参加者 約 70 人、燃やせるごみ 360 ㎏を収集～

10 月 20 日（土） 9:00～11:00、NPO 法人コミュニティ時津主催の「時津港沿岸のごみ拾い」を、地域住民や時津町内在住の企業・団体などに広く呼び掛けて実施しました。

今回は初めて大学生ボランティア活動支援事務局「やってみゅーでスク」と「ながさき海援隊」の大学生、「長崎県地球温暖化防止活動推進センター」からも参加いただき、総勢 約 70 人で、海上から浮遊ごみを、陸上から漂着ごみを収集しました。



収集した燃やせるごみ 360 ㎏は、クリーンパーク長与に運び処理しました。燃やせないごみは少々で、家庭内ごみとして処理しました。

「ながさき海援隊」の女性隊員の方は「先週、五島でごみ拾いをしたが、ごみの種類が違いますね。時津港は、レジ袋やペットボトルなどの生活ごみが多く、特に煙草の吸い殻が多いのが目につきました」と語っていました。



## ★ 海外支援（カンボジア）～12月15日から12月21日まで支援訪問～

12月15日から21日まで、当法人の友岡 純一 副理事長と太田 千賀子 事務局長、一般参加の野口 明子 さんが、カンボジアを支援訪問しました。その間の活動報告が太田事務局長からありましたのでご紹介します。写真は、友岡 純一 副理事長が提供。

### 旅 程

- 12月15日（土）7：14 昭和町出発⇒11：40 福岡からバンコクへ  
バンコク⇒プノンペン（泊）
- 12月16日（日）11：00 礎の石孤児院訪問 午後史跡見学 プノンペン（泊）
- 12月17日（月）プノンペン⇒シェムリアップ⇒バタンバン ノリア孤児院
- 12月18日（火）2班に分かれ買い物 ノリア孤児院・診療所  
コムリエン州 プレアプット村 支援活動（泊）
- 12月19日（水）プレアプット村 支援活動 バタンバン（泊）
- 12月20日（木）バタンバン⇒シェムリアップ史跡見学⇒バンコク
- 12月21日（金）1：00 バンコク発⇒8：00 福岡着

### 豆 知 識

- ①カンボジアの位置  
長崎から南西の方角、中国とインドの間のインドシナ半島で、タイ・ベトナム・ラオスと隣接している国。
- ②国の大きさと人口  
広さは北海道の約2.3倍 18万1千<sup>2</sup>平方<sup>2</sup>。  
人口は北海道の約1.7倍 約960万人。
- ③長崎からの距離  
朝8時、昭和町からバスに乗り、福岡空港から約6時間でタイのバンコク着。  
飛行機を乗り継ぎ約1時間で、カンボジアの首都プノンペン着（時差2時間）。  
現地時間の午後8時ごろ夕食（日本時間の夜10時）。
- ④カンボジア国内の移動・輸送手段  
鉄道やバスがないので車のみ。町と町の間は1～4時間走らなければならない。  
収穫した米などを運ぶ10トントラックが頻繁に往来している。
- ⑤支援品の調達  
子どもたちに渡すフランスパンが1本15円程度、その他米やキャンディなども安く手に入る。物によっては現地で買った方がよい。

### ～活動を通して感想と反省～

2018 カンボジア支援の旅は、NPO法人コミュニティ時津としての参加者は3人。うち長崎市の野口 明子さんが初参加、ご自分のライフワークにも生かされる活動になったと思う。

今年も現地のNPO法人「テラ・ルネッサンス」の駐在員、江角氏やノリア孤児院の岩田さんに出発前のアドバイスから現地案内まで対応いただいた。

支援品については、現地で荷物を引き取る際に高額な手数料が取られるということになり、今年も船便での送付をやめ、手持ちで運ぶことになった。幸い3人行くことができ、総重量90kgまでの制限で8箱のダンボールを持参した。

今年現地邦人のスケジュールの都合により例年より遅く、12月中旬の出発となった。12月15日(土)昼前、福岡空港出発。バンコクからカンボジアに入り、その日はプノンペン泊。16日はプノンペン市内の「礎の石孤児院」を訪問。タクシーをチャーターして米・食料品などを購入し、11時過ぎに孤児院へ。日曜日で、10人ほどの子どもたちと会うことができ、その成長を喜んだ。新しく2歳の女兒が加わっており、支援品として持参した服が本当にタイムリーで、大そう喜んでいただいた。支援品を囲んで写真撮影。その後、初参加の野口さんに見ていただきたい場所、2カ所を案内した。ポルポトの悲惨な虐殺の歴史を体験しようと、「トゥール・スレン」「キリングフィールド」でカンボジアの内戦の様子を日本語の音声ガイドで説明を受けた。



礎の石孤児院で支援品を囲んで

翌17日にはシェムリアップへ移動。岩田さん手配のタクシーでそのままバタンバンへ向った。岩田さんとの連絡がとれず、ノリア孤児院が運営するカフェ「H.O.C (HOPE OF CHILDREN)」も月曜日で定休日だった。あれこれ連絡してようやくテラのスタッフと連絡が取れ、その日の夕方近くノリア孤児院に到着。岩田さんとも会って支援品2箱を渡し、子どもたちから日本語での歓迎を受けた。現地スタッフと夕食を共にし、翌日は2班に分かれて行動することにした。



ノリア孤児院で支援品を前に集合写真

18日、友岡氏と江角氏は灌漑(かんがい)設備用の機材を購入に行き、野口・太田は岩田さんと共にノリア孤児院への食料品や米など購入、再びノリア孤児院へ届けた。カフェ「H.O.C」で合流、プレアプット村方面に出発。途中、いつも立ち寄る診療所に寄り、ダンボール箱2つ、主にタオル類などの支援品を渡し、ベッド用のビニールシートの替えが必要とのことで100ドルを支援。



プレアプット村への途中にある診療所

その後、小学校やその奥に掘っていた灌漑用の大きな貯水池(?)を視察、堀の側には地雷被害者2家族が入植する農地が整備され、幾つかの野菜が栽培されていた。1家族は、家も側に建て農作業がしやすい環境になっていたが、もう1家族は、まだ家を建てることができないため、お訪ねして様子を伺った。使用されていない無線塔の跡に住んでいるということだが、母子家庭で家族6人とか・・・屋根のある部分が少ないので、生活状況が思いやられた。米・パン、女兒用衣類などをお渡しした。



地雷被害者用に整備された農地

続いて昨年雨乞(ご)いの儀式に参加した比較的新しい村などを訪問。ここでは、さまざまに頑張っている状況が見え、元気が出た。小さな学校の生徒たちが歓迎の歌?を皆で歌ってくれた。ここでは山羊を飼って肥育し、良い循環ができていた。水確保のための池も整備が進み、人々の丁寧な暮らしぶりが見えた。山羊小屋増設のための費用として100ドルと子ども用衣類を渡した。



歓迎の歌?を歌ってくれた子どもたち

国境近くの町に移動、日本では珍しい二つの国旗が立っている国境を見、近くの村人たちに（ここも地雷被害者）米・パン・子ども用衣類を手渡した。その日は近くのゲストハウスに宿泊。19日朝、テラのスタッフと共に、バタンバンへ戻り、全員で夕食。テラスタッフに灌漑用の費用をお預けし、お別れ。

20日朝、タクシーでシェムリアップへ向う。昼食後アンコールワットなど観光、夕方空港へ。夜便でバンコクへ行き、深夜の福岡行きで帰国。



国境の町に2本の国旗が揚げられていた

プノンペンの「礎の石」孤児院もバタンバンの「ノリア孤児院」も子どもたちの健やかな成長が見られて良かった。カフェの経営は、比較的順調で予約なども入るようになっていて、カフェ単独では黒字経営になったらしい。米や調味料は歓迎される支援品なので、今後も続けたい。

今回は支援品の荷物が送れずに、手荷物でダンボール箱8個を持参した。子ども用・ベビー用中心になったため、心待ちにしていた訪問先のニーズに合わず、一つのダンボールに、大人物なども混ぜ合わせた方が良かったと思った。

診療所ではタオル類や衣類などとともに浴衣の反物を持参したが、喜んでいただいた。今回も前回同様、前夜のベビー誕生で、所内も清潔に保たれており、上手に運営されていた。

昨年亡くなった地雷被害者のスー・マオさんの子どもさんが元気に村の祖母宅で暮らしているのが救いだった。

町と町をつなぐ幹線道路の両側には、中国資本の超大型の穀物倉庫が建ち並び、中国の力を見せ付けられた。街なかには大型スーパーなども目立つようになったが、地方はまだまだで、特に地雷被害者家族への支援はかなり長期間必要だと思う。

(太田 千賀子 記)

## ★ 「やさしいパソコン教室」

～最後の「やさしいパソコン教室」は、10月5日にスタートし11月27日に終了～

定員15人のところに21人の応募がありましたが、全員受け入れて当法人の会員5人がメイン講師とサブ講師を務めました。受講者は、ワードとエクセルの基礎を学び、年賀状（文面と宛名面）を完成させました。

受講者（男11人、女10人）の平均年齢は71.7歳（最高齢者83歳）でした。皆さん熱心に受講し、それぞれに個性のある年賀状が出来上がりました。力作（年賀状の文面）は、福祉センターロビーに展示しました。



このパソコン教室は、社協からの委託事業でしたが、今年度限りで終了します。当法人創立の翌年（平成17年）にスタートし、14年間で15回開催し、延べ233人の方に受講していただきました。シニアを対象にしたパソコンの入門講座で、パソコン人口の底辺拡大を目的に開催してきました。また、見ず知らずの人との新しい出会いとふれ合いの場でもありました。講師陣も共に成長し、交流の輪が広がったことをうれしく思っています。



★ 土曜学習教室（とぎつサタデールーム）

～社会教育九州ブロック大会で実践事例発表 その他 2件の発表依頼～

10月18日（木）と19日（金）、熊本市会館で開催された「第48回九州ブロック社会教育研究大会」で、「とぎつサタデールーム」が実践事例発表を行いました。県内外から約900人（時津町13人、長崎県51人）が参加し、第1分科会から第4分科会に分かれ、各県代表が取組内容についての報告を行いました。



「とぎつサタデールーム」は、第1分科会（約120人）「青少年の健全育成 地域ぐるみで支援する青少年健全育成の取組について」というテーマで、中原裕子 事務局長と宗 ふじな大学生リーダー（長崎大学4年生）が発表しました。

子どもの居場所づくり実行委員会の中原事務局長は「大学生や子どもたちに、自主性を持たせた活動をしていることを評価していただき、ありがたかった」。また、宗 大学生リーダーは「自分自身で行ってきたサタデールームでの活動を振り返り、見詰めの機会になった。また、多くの方々前で発表することは緊張したが、この活動の中にある喜びや、やりがいについて話すことができてうれしかった。大学生主体で行うこのような活動が広がっていくといいなと思った」と参加しての感想を語りました。



◎その他、2件の発表依頼

・平成30年度第2回放課後子ども総合プラン指導者研修会

主催：長崎県 長崎教育委員会 日時：平成31年1月29日（火）9：30～12：30  
場所：長崎県教育センター5階大講堂（大村市）

・第14回 人づくり・地域づくりフォーラム in 山口

主催：公益財団法人山口県人づくり財団 日時：平成31年2月16日（土）10：40～16：20  
場所：山口県セミナーパーク

第6回 ～スポーツの秋にちなみ「長崎発祥のスポーツ」を学ぶ～

第6回とぎつサタデールームは10月13日（土）、児童56人（10人欠席）、スタッフ14人（うち大学生11人）、総勢70人が参加し時津公民館別館で、「英語の学習」と「日本発祥のスポーツ」を体験しました。



前半の「英語の学習」は、What is this sports? として、クイ

ズでボウリングやバドミントン、バレーボール、野球、サッカー、テニス、水泳などの名前当て（英語）をしました。また、英名のスペルを覚え、発音の学習をしました。

後半は、長崎発祥のスポーツについて太田スタッフが説明し、バドミントン、ボウリング、けん玉、こま回しの体験をしました。



## 第7回 ～「日本と外国の文化」の違いを学ぶ～

第7回とぎつサタデーは11月10日(土)、児童43人(22人欠席)、スタッフ11人(うち留学生2人を含む大学生8人)、総勢54人が参加し時津公民館別館で、「外国と日本の文化について」学習しました。

前半は、イギリスとドイツに留学経験がある大学生と韓国からの留学生が、それぞれの国の文化についての話をしました。



後半は、時津折り紙教室の細田 饒 代表(写真左)と2人の方に講師をお願いし、折り紙作り(駒と鶴)の指導をしていただき、完成させました。

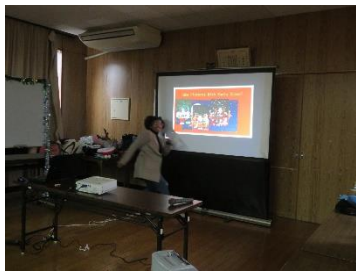


帰りには、自分が折った作品とお土産に、と頂いた「折り紙教室」の皆さんが折った作品を持ち帰りました。

## 第8回 ～「英語で歌うクリスマスソング」と「クリスマスリース作り」～

第8回とぎつサタデーは12月8日(土)、児童45人(21人欠席)、スタッフ15人(NPO3人、大学生10人、中国からの留学生1人、アメリカ人英語教師1人)、総勢60人が参加し、時津公民館別館で「英語のクリスマスソング」と「クリスマスリース作り」をしました。

前半は、クリスマスに関する英語での簡単な日常会話とクリスマスソングを英語で覚え合唱しました。この時間は、アメリカのバージニア州から来日している英語教師のネイティブな発音を聞き学びました。



後半は、紙皿の中央部を繰り抜きベースのリングにするなど、身近にある素材を使ってクリスマスリース作りをしました。短い時間で子どもたちの思い思いの作品が出来上がりました。



子どもたちの作品は、12月10日(月)から14日(金)まで時津町役場ロビーに展示し、来庁者に見ていただきました。



### 当面の予定

#### ◎ シニア パソコン教室事業「アミーゴ サロン」後半がスタート

「やさしいパソコン教室」でお休みしていた「アミーゴサロン」は、12月18日(火)に後半がスタートし、今年度は残り3回になりました。「やさしいパソコン教室」受講者2人が新たに加わり、登録会員数は35人になりました。次年度の参加者募集は、2月中旬の町内(隣組)回覧で行います。

#### ◎ 春季 時津港沿岸(ウォーターフロント公園周辺)のごみ拾い 3月16日(土)実施予定

今年度最後の行事「時津港沿岸(ウォーターフロント公園周辺)のごみ拾い」を実施します。詳細は広報とぎつ3月号または案内チラシでご確認ください。




★ ホームページ掲載記事リスト (10月～12月 ホームページ 26件 ブログ 15件)

活動報告や町の話などを発信しています。

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 「地域カフェとき」2019.1.19のご案内         | 14. 時津町文化祭 (芸能祭・子どもお茶会/音楽祭)       |
| 2. 「地域カフェとき」2019年 年間予定            | 15. 時津町文化祭 (作品展・生け花展)             |
| 3. 時津子ども食堂「はこべら」1月のご案内            | 16. 餅踏み用わらじ作り体験 (福祉センター)          |
| 4. 第8回「とぎつサタデールーム」(2018.12.8 土)   | 17. 第11回 ボランティアまつり (福祉センター)       |
| 5. とぎつカナリーホールイベント情報 (12月/1月)      | 18. 第47回 2018 時津町文化祭のご案内          |
| 6. 時津生涯学習を考えるつどい・少年の主張大会          | 19. 秋季「時津港沿岸のごみ拾い」(2018.10.20)    |
| 7. 元村一地区 防災体験学習会                  | 20. 「地域カフェとき」2018.11.17のご案内       |
| 8. (仮称)久留里トンネル見学会(長崎県時津町)         | 21. 第6回「とぎつサタデールーム」(2018.10.13 土) |
| 9. 「地域カフェとき」2018.12.15のご案内        | 22. 長崎くんち (国指定重要無形民俗文化財)          |
| 10. 時津子ども食堂「はこべら」12月のご案内          | 23. 時津子ども食堂「はこべら」11月のご案内          |
| 11. 第7回「とぎつサタデールーム」(2018.10.13 土) | 24. 「時津港沿岸のごみ拾い」のご案内              |
| 12. カナリーインフォメーション2018 No.2        | 25. カナリーホールイベント情報 (10月/11月)       |
| 13. カナリーホールイベント情報 (11月/12月)       | 26. 会報58号 (コミュニティ時津)              |

ホームページアドレス : <http://www.togitu.org>

ブログへは当法人のホームページのトップページからアクセスできます。

《ブログ入口   》という表示があります、 をクリックすると開きます。

◎ はじめに

NPO 法人コミュニティ時津の会報は、当法人の会員や諸行事にご参加いただいた方、関係先の方などにも配布し、当法人の活動状況を報告させていただいています。

◎ 会員の皆さんへ

年会費は年度初めに、お納めいただくようお願い申し上げます。

下記預金口座にお振り込みいただくか、最寄りの当法人の理事にお渡してください。

十八銀行時津支店 普通191973 } 口座名 : NPO 法人コミュニティ時津  
親和銀行時津支店 普通2575919 }

年度途中 (9月と12月) に納入確認ができなかった方には、10月と1月発行の会報に「年会費納入のご案内」(お願い) を同封させていただきます。案内が同封されていない方は、納入がお済みの方です。二重払いをされないように、ご注意ください。

◎ 入会を希望される方へ

NPO 法人コミュニティ時津に、電話・FAX・メールで申し込むか最寄りの会員に申し出てください。当法人のホームページからも申し込みができます。



発行元 (連絡先) : NPO 法人 コミュニティ時津  
〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷 110 番地 3  
Tel/Fax : 095-882-2408 e-mail [commutogi@ngs1.cncm.ne.jp](mailto:commutogi@ngs1.cncm.ne.jp)  
URL <http://www.togitu.org>